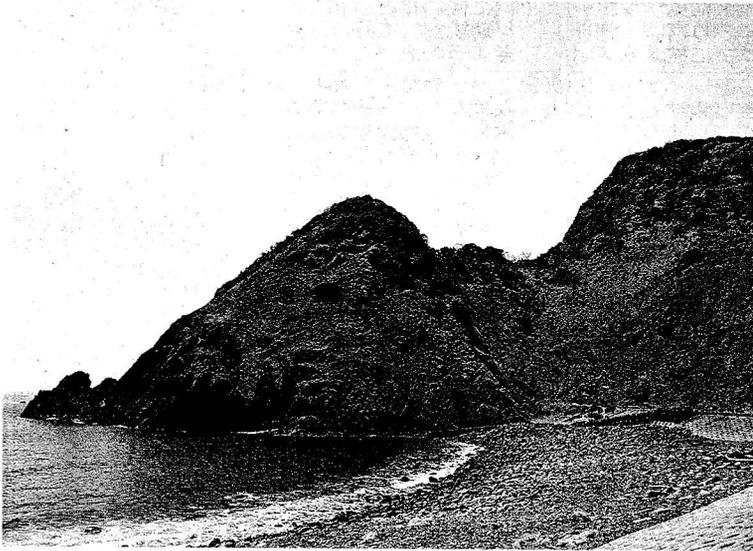


危険？安全？「魔王ルート」

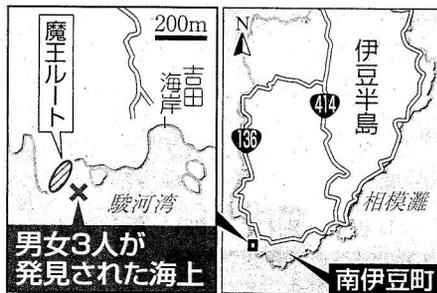
ロッククライミング中か 3人死亡

南伊豆

静岡県南伊豆町妻良の吉田海岸で今月8日、ロッククライミング中とみられる国際山岳ガイドの篠原達郎さん(66)と埼玉県新座市と静岡県富士市の親子の計3人が海に転落し、溺死した。現場付近は「魔王ルート」と呼ばれるクライミング愛好家からの人気スポット。ただ、一帯は急峻で県警の捜査員が入れず、事故原因の捜査は難航している。再発防止のため、何ができるのか。事故を検証した。(佐々木勇輝)



事故現場とみられる「魔王ルート」は、舗装された奥の斜面(右)と急斜面(左)がある。静岡県南伊豆町で



男女3人が発見された海上

■崩れやすい岩

「あそこは本当に危険な場所だよ」。現場となった吉田海岸近くで三十年ほど旅館を経営する吉田克規さん(モト)は言う。同海岸は町役場から車で西に約二十分、険しい山道の先に突如現れる。魔王ルートはさらに海岸西の急斜面を越えた先にある断崖絶壁。け

■整備され人氣

一方、伊豆のアウトドアガイドで、自身も魔王ルートに登った経験がある根岸尚宗さん(64)は「安全なルートのは

もの道を歩いて近づき、見上げると足がすくんだ。吉田さんによると、クライミング客が魔王ルートを初めて訪れたのは五、六年前。それ以前も、付近の岩場では釣り人の事故が起きていた。「七、八歳の岩が、次の日には崩れて海に落ちていたこともある」。岩がもろく崩れやすい「魔王ルート」付近には、地元住民は近づかない。

事故原因の調査のため、静岡県警下田署は三人の転落場所や詳しい状況を調べているが、現場は海に面した険しい断崖で近づくのも難しい状況だ。

■注意喚起しか

再発防止には何が必要か。県河川砂防管理課の担当者は「(吉田海岸の)自治体による一元的な管理は難しい」と語る。海岸法に基づき、県が管理するエリアと個人所有の土地が複雑に入り組んでいるという。境界線を確認する「台帳」の記載と現場とは、波風による崖の浸食でズレがある可能性もある。境界を土地所有者と見直すための手続きは、堤防造成などの公共事業以外で行うのが難しい。南伊豆町の職員は「注意喚起の看板を立てるくらいしかできない」としつつも、「観光地として、皆が安全に楽しめる方法を考えたい」と話している。

日本山岳ガイド協会の武川俊二理事長(65)によると、国際山岳ガイドは世界の山に登る技術と知識を持ったプロに与えられる資格。同ガイドとして二十七年の経験を持つ篠原さんの事故は、業界にも「なぜ」とショックを与えている。

土地の境界複雑「管理難しい」

ただ、山岳ガイドと一緒に複数で登ることも想定し、開拓された」と説明する。岩の風化も考慮して最新のボルトが各所に打ち込まれ、難度も低いため人氣が集まり一篠原さんレベルの人が落ちるなんて」といふかった。